

研修プログラムのご提案

指導者、管理職、経営者に役立つ 人を成長させる教え方

最高の力を発揮する人財を育てよう

研修の目的

- 誰でも“デキる”人にする「行動科学的な教え方」を学ぶ。
- スタッフの心理を理解し、意欲を引き出す関わり方を学ぶ。
- スタッフが気持ちよく動いてくれる、行動を促す言葉がけを練習する。

【行動科学的な教え方】は、このような問題を解決します。

- 教えても部下ができるようにならない
- つい厳しい言葉や態度になってしまう
- いつもイライラしてしまう
- 指導する立場だが、自信がもてない
- 人によって教え方がバラバラ
- 辞めてしまう人が多い

短期間で優秀な人財を養成する組織は、何をしているのか？

「行動科学的な教え方」をしています。

それは人間の行動を心理的、脳科学的に理解し、効果的に指導する方法です。

アメリカで長年研究された“この教え方”は、外資系企業、ディズニーリゾートでも活用されています。

残念なことに日本企業のほとんどは、“この教え方”の存在を知らず、社員に教えていません。

これを取り入れると、勤勉でまじめな国民性の日本人は、最高の力を発揮し始めます。



<仕事の教え方3原則>

- 新人の心理状態とは
- 具体的とは
- 分かりやすいとは



ねらい 行動科学的な教え方の技術を活用できるようにする。

<人間が世界を認識するシステム>

- 知っておきたい人それぞれの利き感覚

ねらい 相手に合わせて教え方を変える必要があることを知る。

<できるようになるまでの5つのステップ>

- 成長するには時間（日数）かかる
- ゼロから始まり、指導者になるまでの段階

ねらい 成長の段階ごとに注力するポイントを知る。



<人がいきいき動き出す言葉がけのコツ>

- 意欲を引き出し、前向きな行動を促すには
- してほしいことを具体的に伝えよう

ねらい 部下の前向きな行動を促す表現のコツを知る。



<リーダーとしての振る舞い>

- 人を成長させる導き方
- 指導の際、気をつけたい言動

ねらい 組織風土をより良くしていくステップを考える。